ひまわりの声

題字は髙森政雄区連会会長

編集・発行港南区連合町内会長連絡協議会

15の地区連合町内会長で構成する 「港南区連会」は、地域情報の宝庫です。 地域と行政をつなぐパイプ役として、様々な情報を 地域へ発信しています。

港南区連会(髙森政雄会長)が、昭和44年の発足以来、その使命としている課題は「区民の幸福と安全の更なる充実」を実現するため、行政サイドと《どのような相互補完的パートナーシップを構築するのか》というものです。

港南区連会は、15地区の連合町内会長により、月1回(8月、12月を除く)の定例会議を開催しています。

定例会議では、区役所(市役所)、警察署、 消防署など行政サイドから様々な事業について"情報"の伝達を受け、より良い区民 生活を築くため、相互の話し合い等も行っています。

この定例会議の終了後、各地区連合町内会の地区連絡会議を経て各自治会町内会へ





と伝わり、回覧板や掲示板などを通じて、 皆さんの元へ"情報"が届きます。

つまり、港南区連会は、地域と行政をつ なぐパイプ役を担っているのです。

そのほか、港南区連会の活動として、地区連合町内会役員を対象にした研修会を年1回開催し、その時のタイムリーな話題等について、勉強しています。

また最近では、地域防災を進めるため区役所と協働で、「港南区防災ガイド」の全戸配布、全自治会町内会掲示板での「防災5か条」ポスター掲出、さらに防災訓練での"いっとき避難場所"確認、などを行いました。

このように区全体で解決すべき課題については、関係行政と連携を図り、"地道" に取り組んでいます。

「永野連合夏祭り」

永野連合町内会

7月24日(日) 下野庭公園 参加人数:約2000人 ら旗」が。

町内会の各部による夜店や獅子舞の 踊りは、永野の伝統文化を子ども達に 伝える良い機会となりました。やぐら には永野連合シンボルマークの「くじ



「浩南台町内会 浩南台夏まつり」

芹が谷連合自治会

8月6日(土) 芹が谷南小学校 参加人数:約500人

焼きそばやヨーヨー釣りは、 行列ができるほど人気でした。 夏の電力不足に配慮して、例年 より1時間開始を早めました。

猛暑と節電の夏~秋

それでも地域は元気でした!

平成23年3月11日の東日本大震災は、これまで我々の心に暗く・重くのしかかってき ました。更に予想に反して、昨年同様の猛暑が続きましたが、その中で"節電"が叫ば れまさに忍耐を求められた、今年の夏~秋でした。しかし、地域では、被災された方々 への思いを胸に、子ども達を中心に「明るく元気に」各イベントが開催されました。

「港南台連合夏祭り」

港南台連合自治会

8月20日(土)~21日(日) 港南台中央公園 参加人数:約2000人

連合自治会と商店会共 同の大イベント。港南台 第一中吹奏楽部による浴 衣を着ての演奏は大変な 人気でした。



「野庭住宅連合自治会 夏まつり



野庭住宅連合自治会

8月20日(土)~21日(日) 野庭中央公園 参加人数:約2000人

野庭中学校吹奏楽部の演奏で、大きな小学生?の マルモリダンスも披露。かき氷の大食い大会は小学 生に大人気でした。

「第25回富士見夏祭り」

「玉興町内会 納涼盆踊り大会」

8月20日(土)県立永谷高校 は大いに盛り上がりまし

永谷連合町内会

参加人数:約700人

青年部、子ども会によ

る太鼓演奏、子ども神輿

た。餅つき大会の会場で

は、震災義援金の募集も

行いました。



日野南連合自治会

8月20日(土)~21日(日) 日野南公園 参加人数:約5000人

お隣り栄区との5自治会が 協力して開催。ふるさとの夏 祭りとして定着しています。 会場で集めた募金とバザー売 上の全額を、東日本大震災津 波遺児募金へ寄付しました。

「日野第一ふれあいフェスタ」

日野第一連合町内会

10月2日(日) 吉原小学校 参加人数:約3000人



人と人がつながり、「地域の輪」 が広がること、また、子ども達に心 のふるさとを感じてもらうことを目 的としたイベントです。福島県農産 物即売をチャリティで行い、東北地 方を応援しました。

「第40回日野連合町内会体育祭」

10月9日(日)小坪小学校 参加人数:約850人

ゲーム性の高い新種目の採用により、和やかな雰囲気で町 会の相互交流ができました。「子どもフォーラム」のメンバー による活動説明も行いました。



「第35回日下連合体育祭」

10月16日(日)日下小学校第二運動場 参加人数:約750人

子どもから高齢者まで、今年も大勢の参加がありました。8つ の町会・自治会対抗戦は、元気な声援で盛り上がりました。

各地区連合町内会では、その地域の特色を生 かして、さまざまな行事を行っています。

その様子と今後の抱負を、二人の港南区連会 副会長に聞きました。

地域と企業がタイアップ! 新たな行事にもチャレンジします。

~清水鐵夫副会長(笹下地区連合町内会長)

平成23年10月30日(日)、『ごみ拾いはスポーツだ!』を合言葉に、笹下地 区連合町内会主催の"スポーツごみ拾い港南中央大会"を開催しました。

親子グループを中心に、44チーム・総勢196人が港南ふれあい公園に集合、 港南中央駅周辺を会場にして、大きなビニール袋を手に競技がスタートしま した。

笹下地区の行事としては、「桜まつり」や「子ども防災体験キャンプ」が お馴染みですが、"スポーツごみ拾い"は、地元企業とのタイアップで企画 したもの。地区の各自治会町内会の協力を得て、

自分たちが住んでいる地域をきれいにしたい という、子どもからシルバー世代まで幅広い年 代の参加があり、地元企業からも賞品参加が得 られて、まさに一石二鳥。

今回が初めての試みとなりました。

地域の"絆"を深める、良い機会となりました。



●スポーツごみ拾いとは 3~5人を1チームとして (家族・友達・サークル・ スポーツチーム・学校・企 業など)チーム単位で参加、 制限時間内に拾ったゴミの 量と質でポイントを争う競 技です。これは従来、環境奉 仕活動である「ごみ拾い」 を、こどもから大人まで楽 しめるスポーツとして"ー 般社団法人日本スポーツご み拾い連盟"が競技化した ものです。

これからの地域は、未来ある子ども達とともに…

~淡路伸勝副会長(日野南地区連合自治会長)

これからの地域の将来、そして港南区連会活動の将来は、「各地域組織の 諸活動に強い意志を持ってがんばっている私達大人の姿を目の当たりにしつ つ、成長していく|小学生、中学生そして高校生等の子ども達の手中にあり ます。しかし、実際には、その子ども達が自治会町内会などの地域活動に参 加する機会は、少ないように感じます。

そこで、今年度は12の地区連合町内会において、青少年の健全育成を目的 とした「こども"ゆめ"応援事業(港南区青少年健全育成を推進する会)」 を実施しています。

この事業として、日野南地区連合自治会では、「こども囲碁教室」を企画 しました。自治会囲碁部の皆さんがボランティア指導者となり、毎月自治会 館で開催しています。

また、各地域の中学生や高校生の有志と、港 南区連会の15人のメンバーとで、"地域社会の 将来像"に関して自由に意見交換をする…とい うようなことも実施してみたいと考えています。

今後も、未来ある子ども達と寄り添える地域 交流を、さらに広げていくことが課題でしょう。



自治会町内会長感謝会 -の 紹 などです。お楽しみに1

ひまわりの声では、港南区連合町内会長連絡協議会を「区連会または港南区連会」と記載しています。

緼

改めて地域社会の"絆"の必要性 が再認識された約9か月でした。 これからも、"絆"づくりのため、 ひまわりの声は頑張ります。

- ■3・11東日本大震災を受けて、 ■本紙および区連会へのご意見・ ご要望は区連会事務局までお寄 せください。
 - ■区連会会報担当 遠藤良一/中島淑子

編集委員 松田英樹/筒井英子 (横浜市港南区港南中央通10-1 港南区役所地域振興課内

☎847 − 8391 FAX842 − 8193)